

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	新宮市立三輪崎小学校	芝崎勝善
学校所在地		
〒 647-0061 tel 0735(31)7014 fax 0735(31)6452		
担当者名	役職名・担当教科	
速水直也	6年生学年主任	
〔学校の概要〕 本校は、明治7年9月15日に創立された。現在、全校児童390名の学校である。 校区は、三輪崎、佐野、木ノ川、蜂伏の4区に大別される。蜂伏地区は、住宅団地として開発され個人住宅が次第に増加してきている。校区には、支援学校、老人保護施設、看護学校、医療センターなどの施設があり、海岸沿いには新宮港が開設されている。 学校の立地は、新宮港の隣にある黒潮公園に近く、同公園は遠足や校外学習などでよく利用するため、本校の児童にとって親しみのある場所となっている。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年6年生 61名	職員 5名	本校、世界遺産センター、熊野参詣道
実践研究テーマ		
世界遺産についての知識を深め、郷土を愛する心を育てる		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう	
〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土学習		
〔単元目標〕 (1) 熊野参詣道を実際に歩くことで、地域にある文化遺産の素晴らしさを体感する。 (2) 資料や自分の体験などを生かして、自分の伝えたい事柄を効果的に表現しようとする。 (3) 郷土にある文化遺産を守り引き継いでいくために自分にできることを考えようとする。		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 10 時間 （「世界遺産について調べよう」 10 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産講座 次世代育成事業（現地学習等） 和歌山県商工観光労働部観光局観光振興課 …… 10万人の参詣道環境保全活動		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産とは何かを知る。 世界遺産について知っていることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について興味を持てるようにする。 	発言 ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> 世界に登録されている世界遺産を知る。 日本に登録されている世界遺産を知る。 世界遺産について知りたいことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界には様々な世界遺産があることに気づかせる。 世界遺産について自分知りたいと思うことを明確にもたせる。 	ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産講座を受講する。 熊野参詣道について話をききながら実際に参詣道を歩く。 	<ul style="list-style-type: none"> 道の保全活動に参加することで、世界遺産を守り残していくことの大変さや大切さに気づかせる。 	発言 行動観察
4	<ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について詳しく調べる。 調べたことを整理しまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの興味関心に応じて多様な調べ方を行わせる。 世界遺産についての思いや願いが伝わる様表現を工夫させる。 	作文
5	<ul style="list-style-type: none"> まとめたことを発表し合う。 感想を交流する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の世界遺産についての知識や愛着が深まっていくようにする。 世界遺産を守り次世代に伝えていくために自分たちにできることを考えさせる。 	発表 発言
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>(成果) 児童それぞれの興味関心にしたいが、知りたいと思ったことを調べてまとめるという学習の進め方が出来た。現地学習を取り入れることで、地域の文化遺産への関心を深めることができた。</p> <p>(課題) 文化遺産を守ることの大切さについて考えさせるために、様々な保全活動に携わっている人々の思いなどについても触れられるとよいと思った。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> 参詣道を実際に歩くことで、身近にある文化遺産の素晴らしさに触れられたと思う。また、歩いている最中に外国からの参拝者を多くみかけたので、地域にある文化遺産が他の国の人々に注目されているという実感をもつことができた。 保全活動に参加したことは児童にとってよい体験となった。現地で保全活動をしている際に、参詣道を歩いている人たちから「ありがとう」と声をかけてもらえてとても嬉しそうだった。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習でまとめたものを、地域に向けて発信する機会が設けられればよい。 地域の文化遺産を守るためにできることを考えるという話し合いを深めるためには、参詣道に対する興味関心をもっと深めさせるような指導の工夫が必要。 			

様式 2

平成29年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

- ・世界遺産がどれだけ大切なものかわかった。世界遺産から外されそうな場所や、世界遺産から外された場所もあることを知った。
- ・危険遺産リストがあるのを知らなかった。
- ・すごく遠い京都から熊野古道に来て歩いていたのがすごいと思った。
- ・昔の人は、熊野三山へ来るために300kmも離れたところから長い月日をかけて来るなんてすごいと思いました。途中で亡くなった人もいたと聞いてそれにも驚きました。
- ・参詣道を3km歩いたけど、あまり遠く感じなかった。熊野本宮大社の屋根が木の皮で出来ていることを知った。
- ・自分が道普請をして、世界遺産から外されないようにできたし、人の役に立った。道普請をしてよかった。
- ・熊野古道を歩いたのはつかれたけど、道普請は楽しかったのでよかった。またやってみたいと思う。
- ・熊野参詣道で道普請をしていると、そこを通る人に何回も「ありがとう」や感謝の言葉を言ってもらい、道普請というのは大事なことだと分かった。
- ・道普請の活動をして、これからも世界遺産を守っていかなければいけないと思った。
- ・外国の人たちが、日本の世界遺産に興味を持っていることが分かった。
- ・参詣道の道普請をしたとき、外国の人が喜んで歩いてくれていることがわかってうれしかった。
- ・危険遺産になっているところが0件になってほしいと思いました。そして、世界遺産を未来に残していきたいと思いました。
- ・もっといろんな世界遺産のことを知りたいと思った。

